



菊陽大好き！ 笑顔と自信にあふれ
 学び合い 支え合い 共に未来を切り拓く 児童の育成

出会い学び力

つながり考動力

自分磨き力

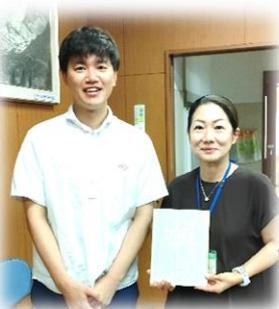


9月も今日で終わります。近所のスーパーの果物売り場では、栗や梨から柿やみかんが登場して、季節の移り変わりを実感しています。校庭のフェンス沿いには彼岸花も美しく咲き、秋の訪れを一層感じさせる季節となりましたね。運動場でも元気に遊ぶ子どもたちの姿がよく見られるようになりました。前期終了まであとわずかです。一人ひとりのよさや頑張りをしっかりと見ていきます。



9月24日、ピアノを寄贈していただいた牛島勇貴さんが来校され、音楽の授業を参観していただきました。また、牛島さんからピアノについてのお話もいただくことができました。

このピアノは牛島さんのお母さんが大切に使われていたピアノだったそうです。お母さんは地域のつながりをとても大切にされる方で、自宅で英語教室を開かれるなど、地域の子どもたちとも積極的にかかわっておられたそうです。そんな素敵なお母さんが大切に使用していたピアノを「学校に寄贈して、子どもたちに使ってほしい！」という思いを牛島さんはずっと持っておられました。その思いが今回叶ったことから、「思いをつなげる」ことの大切さを子どもたちに伝えてくださいました。



寄贈
 牛島富子
 2024年7月吉日
 supported by
 ストリートピアノドネーションズ



ピアノ寄贈感謝の会

牛島さんとお母さんの気持ちをのせてこれから歌を歌いたいと思います。ピアノを寄贈していただきありがとうございました。



ぼくはあまりピアノを弾いたことがありません。けれど牛島さんからもらったピアノは牛島さんのお母さんの形見なので、弾いてみようと思いました。

今回寄贈してもらったピアノは、牛島さんとお母さんの思いを大切に使っていきます。

これから牛島さんたちが大切にしてくれたピアノでたくさん歌ってみたいと思いました。

ピアノには牛島さんの思いが強く込められていることが分かりました。

もうひとつ、このピアノに運命を感じるがありました。それは、牛島さんが実は、私が若かりし頃勤めていた小学校に在籍していた児童だったということです。ホームページで校長名が私の名前だったことから、担任ではなかったにもかかわらず当時のことを覚えていてくれて、小学校の卒業アルバムを持って来校されました。あの時は小学生だった牛島さんが、時間が経ち、立派な社会人として自分の思いをつなげている姿に感動しました。きっとお母さんも誇らしく思い、空の上からいつも見守っておられることでしょう。牛島さんの思いを大切に、これから子どもたちとピアノを使っていきます。ありがとうございました。また子どもたちに会いに来てくださいね。待っています。